

平成 27 年度の予算

平成 27 年度予算をお知らせします

* 当初予算合計 *

654 億 8,000 万円 前年度対比 + 8.8%

一般会計 378 億円 (前年度対比 + 3.6%)
 特別会計 164 億 4,720 万円 (前年度対比 - 15.3%)
 公営企業会計 112 億 3,280 万円 (前年度対比 + 31.6%)

特集
 まちのお金の使い方



「丹波市再生スタートの年」
 災害からの復旧・復興そして、
 地方創生へ」

平成 27 年度は、8 月 16 日豪雨災害からの復旧・復興を最優先に、市制 10 周年の節目を経て、丹波市の最上位計画である第 2 次丹波市総合計画の初年度であり、「丹波市再生スタートの年」と位置づけました。豪雨災害からの復旧・復興、そして、地方創生に取り組み、「若者に魅力のあるまちづくり」を推進します。

平成 27 年度当初予算は、一般会計が 378 億円となり、前年度対比 3.6% の増加、また、特別会計と企業会計を加えた全会計では、654 億 8 千万円で、前年度対比 8.8% の増加となりました。これらの予算をもとに、着実な市政の推進と山積する課題の解決に取り組みます。

② 特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

(単位：万円)

会計別	主な使い道	予算額	増減率 (%)
国民健康保険特別会計事業勘定	国民健康保険加入者を対象とした医療給付	882,000	15.5
国民健康保険特別会計直診勘定	青垣診療所の運営	23,840	9.7
介護保険特別会計保険事業勘定	65 歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付	603,600	△ 7.3
介護保険特別会計サービス事業勘定	地域包括支援センターの運営	7,150	5.9
後期高齢者医療特別会計	75 歳以上の方を対象とした医療給付	83,400	△ 3.2
訪問看護ステーション特別会計	在宅介護支援サービスの提供	1,720	△ 10.4
地方卸売市場特別会計	卸売市場の改修工事など	1,380	320.0
駐車場特別会計	月極・一時駐車場施設の管理	2,590	93.3
看護専門学校特別会計	丹波市立看護専門学校の運営	19,570	※新規
農業共済特別会計 (収益的収支)	農業共済金、無事民金の支払いなど	19,470	6.1
総合計		1,644,720	△ 15.3

③ 企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

(単位：万円)

会計名	主な使い道	予算額	増減率 (%)
水道事業会計	施設・設備などの維持管理・水道	427,900	0.4
下水道事業会計	施設整備など	695,380	※新規
企業会計合計		1,123,280	31.6

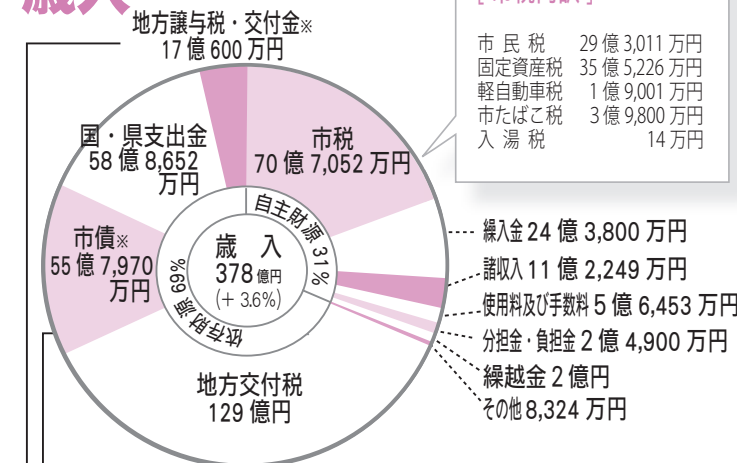
注 1) 平成 27 年度から下水道事業会計は、一般会計から公営企業会計に変わりました。

注 2) 水道事業会計 (資本的収支) の予算額は、収入と支出を比較し、多い方で表示しています。

① 一般会計 378 億円

前年度対比 + 3.6%
 福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

歳入



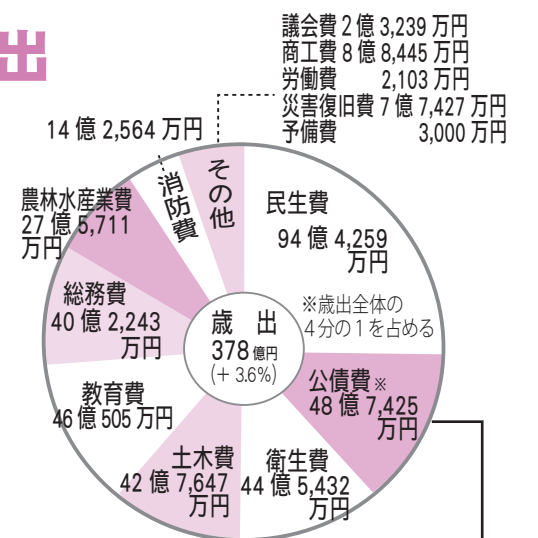
※ [地方譲与税・交付金]

地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

※ [市債]

道路整備や学校建設など、一度に多くのお金がかかる事業は、その年の収入だけでは賄いきれないので、国や銀行等からお金を借りて実施します。このお金を市債といいいます。今年度の主な事業として、道路整備事業、幼保一元化事業などがあります。

歳出



※ [公債費]

市債 (借金) の元金と利子の返済に要するお金。平成 17 年度から平成 26 年度までに約 174 億円の繰上償還 (返済) をしたことで、市債残高が平成 17 年度末と比べて約 139 億円減少する見込みです。今年度は、繰上償還実施額の減少などにより、対前年度比で約 9 億円の減額となっています。

「一般会計歳出」

歳出は、前年度対比で 3.6% の増加となっています。

※総務費 情報システム管理事業、防災行政無線整備事業などの増額により、前年度対比 13.5% の増加となっています。

※民生費 幼保一元化事業などの減額により、前年度対比 17.8% の減少となっています。

※衛生費 一般廃棄物処理施設建設事業、一般廃棄物処理施設整理事業などの増額により、前年度対比 30.5% の増加となっています。

※労働費 緊急雇用就業機会創出事業の減額により、前年度対比 82.1% の減少となっています。

※農林水産業費 担い手農業者等災害復旧支援事業多面的機能発揮促進事業などの増額により、前年度対比 18.2% の増加となっています。

※商工費 商工振興事業の減額により、前年度対比 3.5% の減少となっています。

※土木費 プロジェクト関連事業、橋りょう長寿命化事業、河川改良事業などの増額により、前年度対比 23.7% の増加となっています。

※教育費 小・中学校施設整備事業などの増額により、前年度対比 9.8% の増加となっています。

※災害復旧費 道路・河川の災害応急復旧事業の増額により、前年度対比 432.4% の増加となっています。

※公債費 繰上償還の縮減などにより、前年度対比 15.6% の減少となっています。

「用語解説」

※ 地方交付税

市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。

※ 国庫支出金及び県支出金

国や県から交付されるお金。特定の事業などに対して交付されるため、使い道が限定されている。

※ 繰入金

特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた財金 (基金) を取り崩したお金など。

新規

新エネルギー推進事業

木質バイオマスエネルギーの活用を推進



地域住民が伐採した木を買い取って、地域で薪や材木、木工品として生産・販売する仕組みを事業化する民間事業者に対して支援を行い、里山や森林整備・再生、木質バイオマスの利活用による地域内の経済循環・雇用創出を図ります。

市民環境課 ☎ 82 - 1290

地産地消システムを構築・元気

拡充

新規就農者等支援・育成事業

新規就農者等への育成支援でしごとの創出



新規就農者が研修を受けた場合、受入先が新規就農者に対して支払う給与の一部を市で補助します。また、農業用施設の導入支援や家賃補助等を行い、認定新規就農者をバックアップします。

【予算額】 335 万円

農業振興課 ☎ 74 - 1465

農業にチャレンジできるまち・元気

新規

TAMBA 地域づくり大学を開催



生涯学習で身につけた知識や技能を地域課題の解決などにも生かしてもらうため、実践力を高める地域づくりのリーダーを養成する講座を開催。特に、地域で活躍することができる女性リーダーの養成を推進します。

【予算額】 50 万円

市民活動課 ☎ 82 - 0409

生涯学習の成果を地域に還元・元気

【そのほか 主な新規事業】

※カッコ内は予算額

社会福祉団体へ貸切バス料金の一部補助（1,250 万円）、生活困窮者への自立支援（2,029 万円）、消防活動車両整備事業（4,153 万円）、地域資源を活用した新たな産業創造（755 万円）、薪ストーブの購入（164 万円）、丹波市地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業（90 万円）、丹波市学力調査（259 万円）、デジタル教科書の整備（567 万円）、丹波大納言小豆ブランド推進事業（125 万円）、農地中間管理業務推進事業（2,782 万円）、6 次産業化ネットワーク活動交付金（4,000 万円）、多面的機能発揮促進事業（3 億 5,296 万円）、第 3 次行政改革プランの策定（802 万円）、公共施設等総合管理計画の策定（1,001 万円）、光ファイバー敷設支援（1 億 1,000 万円）ほか

拡充

丹（まごころ）の里田舎暮らしワンストップ相談事業

移住者相談窓口をリニューアル

移住希望者に対して、丹波市への移住相談、週末滞在や就農体験の案内など、田舎暮らしに関する相談をワンストップで行う窓口がリニューアルしました。

【予算額】 713 万円

新規

空き家の利活用対策

空き家の所有者と利用希望者をつなぐ

空き家を紹介するシステムの構築、空き家の所有者と利活用を希望する人の相談窓口を設置します。

【予算額】 175 万円

住まいづくり課 ☎ 88 - 5039

交流・移住人口を増やす・元気

拡充

プレミアム商品券の発行支援

発行総額は過去最大 7 億 2,000 万円

国の経済対策交付金を活用して、平成 27 年度はプレミアム率を 20% にし、過去最大となる 7 億 2,000 万円のプレミアム商品券を発行します。また、買い物を通じて市内を周遊する機会を創出するため、複数の地域を周るスタンプラリーを実施します。

【予算額】 1 億 3,700 万円
※予算額は市が発行主体（たんば商業協同組合）に対して支援する額

新産業創造課 ☎ 74 - 1464



商品券を買い求める人でにぎわう販売所（昨年度）

市内消費を拡大・元気

新規

丹波スターコンテンツ活用事業

丹波市が誇る特産物で観光客を誘客



丹波栗・丹波大納言小豆・丹波黒豆のいわゆるスターコンテンツを活用して、商品の企画開発、販売宣伝を行い、誘客や地域の活性化につなげます。

市内外に特産物の素材のよさを伝え、観光客の誘客による消費促進、経済波及効果を生み出します。

【予算額】 650 万円

恐竜・観光振興課 ☎ 78 - 9400

特産物の魅力再発見・元気

拡充

丹（まごころ）の里活性化推進事業

秋の味覚フェアを開催します



県・市・JA で「丹の里・秋の味覚フェア」（仮称）などを実施し、丹波市の農林産物の魅力を広く PR するとともに、豪雨災害からの復興とで支援いただいた方々への感謝の思いを発信します。

【予算額】 400 万円

農業振興課 ☎ 74 - 1465

秋の味覚を大放出・元気

拡充

子育て支援事業

アフタースクールの対象を小学 6 年生まで拡大

今年度から、アフタースクールの対象児童を小学 6 年生まで拡大します。また、受入施設の改修整備と指導員の資質向上を図り、すべての子どもや子育て家庭にとって、地域で必要な支援を受けられるよう環境を整えます。

【予算額】 1 億 4,683 万円

子育て支援課 ☎ 70 - 0813



安心してできる子育て・安心

新規

ごみ処理施設の運営管理

丹波市クリーンセンター
「クリーンパーク丹波」が稼働を開始



4 月から新しいごみ処理施設「クリーンパーク丹波」が稼働しました。市内で発生したごみを適正かつ効率的に処理するとともに、施設見学や体験学習を通して、ごみの減量化や再資源化の取組への意識を高めます。

【予算額】 5 億 9,264 万円

環境整備課 ☎ 78 - 9999

資源循環型社会の推進・安心

新規

まち・ひと・しごと創生
丹波市版総合戦略を策定



人口減少の抑制と東京一極集中の是正に向けて、まち・ひと・しごと創生法が制定されました。市では、仕事の創出と雇用の安定、定住・移住・帰住施策の推進、そして、結婚・出産・子育てに希望のもてる環境づくりを図るため、地域の特性を生かした総合戦略を策定します。

【予算額】 500 万円

総合政策課 ☎ 82 - 0916

人口減少・若者流出に歯止めを・創造

新規

文化財整備事業

黒井城跡整備基本計画を策定

黒井城跡の石垣の修復、遺構や案内板の整備など、文化財の保存と活用に向けた基本計画を策定し、文化財としての魅力と価値を高めます。また、三ツ塚史跡公園を再整備するため、実施設計を行います。

【予算額】 1,180 万円

文化財課 ☎ 70 - 0819



空から見た黒井城跡

国指定文化財の整備・創造

平成 27 年度予算



「安心」「創造」「元気」
平成 27 年度予算を 3 つの視点から
主な事業をピックアップ

新規

拡充

豪雨災害からの復旧・復興

被災した道路、河川、上水道、農林施設等の復旧工事を本格化させ、安全・安心な暮らしを整えます。また、被災者の生活再建、農業再開に向けてさまざまな支援事業を拡充させます。

- 安全安心（道路や河川の早期復旧）⇒ 4 億 3,935 万円
- 住まい（被災住宅解体撤去支援、融資の利子補給など）⇒ 1 億 4,118 万円
- 農業（農地・農業施設の早期復旧など）⇒ 4 億 2,968 万円
- 森林（森林の復旧・復興、新エネルギー普及）⇒ 5,568 万円
- コミュニティ（活気あるまちづくり）⇒ 574 万円

【予算額】 10 億 7,163 万円

創造的復興に挑む・安心

新規

空き家対策事業

危険空き家等の解体撤去支援制度を新設

危険な空き家の解体撤去費用に対して、80%（上限 160 万円）の補助を行い、危険な付属建物に対しても補助（上限 20 万円）します。

また、昨年の豪雨災害で被災し危険な状態の住宅解体撤去費用に対して、90%の補助（上限 180 万円）を引き続き実施します。

【予算額】 1 億 2,220 万円

住まいづくり課 ☎ 88 - 5039



空き家対策の推進・安心

新規

地域医療総合支援センター（仮称）
の整備推進

県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編による新病院の整備に合わせ、保健・福祉・医療・介護の拠点となる総合的な施設の整備に向けた設計を行います。【予算額】 7,211 万円

地域医療課 ☎ 82 - 4567

新規

市立看護専門学校の運営

県から移管を受けた看護専門学校を運営し、地域の病院などに勤務する看護師を養成します。また、教育環境の充実を図るため、老朽化した施設を改築するための設計に着手します。

【予算額】 1 億 9,570 万円

看護専門学校 ☎ 72 - 0528



平成 27 年度入学式

地域医療の充実・安心